

<資料>

住商工混在地域における「おかんアート」に関する考察 — 兵庫区長田区での地域資源発掘ツアーの実践を通じて —

A Study on the “Mum Art (A Kind of Handicraft Created by One’s Mother)” Appeared in Residential-Industrial-Commercial Mixed Land Use Area in Kobe

山下 香*

Kaori Yamashita

神戸市兵庫区長田区において筆者らが2005年より開催する地域資源発掘ツアーで訪問した個人商店、町工場、住宅と言った空間には、「おかんアート」と呼ばれる婦人の手芸作品が飾られているものが複数存在した。本稿では、おかんアートが存在する空間、及び、おかんアートを制作する婦人ら、という2点に着目し、筆者が継続して実施する調査における中間報告を行う。

キーワード：住商工混在地域、地域資源、ツアー、おかんアート

I. はじめに

1. 地域の概要

神戸市の中央に位置する兵庫区、長田区(図1、図2)は、臨海部を重厚長大型の大規模工場が占め、その周辺に町工場と呼ばれる中小規模の工場、個人商店が戸建住宅や集合住宅と集積する住商工混在地域である¹⁾。近年、大規模工場の郊外への流出、海外生産の増加による地場産業の衰退、量販店の進出や高齢化に伴う工場や個人商店の減少に直面している²⁾



図1. 神戸市兵庫区長田区

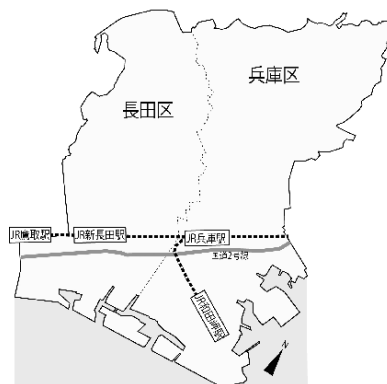


図2. 対象地域である兵庫区長田区南部地域

*流通科学大学人間社会学部、〒651-2188 神戸市西区学園西町3-1

2. 地域資源発掘ツアー

筆者は、兵庫区、長田区に広がる住商工混在地域をレトロという視点から再評価し、地域資源として発掘、及び、発信することを目的として、兵庫区長田区の居住者を中心とした任意団体である「下町レトロに首っ丈の会」³⁾を結成し、2005年10月より地域資源発掘ツアー（以下、「ツアー」）を開催している。ツアーでは、訪問した個人商店、町工場、住宅で生活を営む商店主、工場主、居住者らが、職能や趣味などを披露する（表1）。

個人商店では、串カツやコロッケといった食品の購入・試食、駄菓子店での買い物ゲームを始め（写真1）、瓦せんべい店主による実演見学やクレープ店主によるクレープ焼き方教室のように、商店主による技能の実演や指導などが行われた。町工場では、靴工場や部品工場といった普段は非公開の内部が公開され、工場主や職人による技能の実演が行われた（写真2）。住宅では、元映画看板絵師宅での作品展示（写真3）のように、居住者による趣味で培った技能の展示や実演が行われた。

2005年10月に開催した第1回から2010年7月に開催した第35回のツアーでは、兵庫区70ヶ所、長田区55ヶ所の合計125ヶ所の空間を訪問した。

II. 地域資源発掘ツアーとおかんアート

1. おかんアートの概要

本稿で扱う手芸作品は「おかんアート」と呼ばれ、2005年9月2日付の日経MJにおいて、“家庭の等身大な生活感やなごみ空間を演出し、家族間の絆を深めるのに一役買っている”と紹介された⁴⁾。おかんアートとは、婦人が作る手芸作品の総称である。今にも捨てられようとしているものを再利用した作品のように、婦人の知恵が詰まるが、完成度は婦人により異なることから、若者の間ではしばしば「ゆるい」という言葉で形容されている⁵⁾。

図3はおかんアート作品を系統図により分類したものである。牛乳パックで作った椅子、広告のくず入れのように、ゴミを再利用するものや、安全ピンで作った人形のように手芸以外の材料を転用するものなど、多様な作品が存在する。



写真1. 喫茶店で店主との交流



写真 2. 造船所の見学



写真 3. 元映画看板絵師宅で作品見学

表 1. 地域資源発掘ツアーの概要

回	タイトル	開催日	ツアー概要	参加者数
第1回	レトロな兵庫編	2005/10/29	JR神戸駅集合→福蒔市場見学(コロッケ・串ホルモン試食)→喫茶ココで自己紹介→松尾稲荷神社ヒリケン見学→入江の歴史委員会による西出町まちなか俱樂部案内→むつり工作所木製総構型見学→神戸市中央卸売市場昼食→兵庫大仏散策→駄菓子店内でお買物ゲーム→ナツメロ喫茶マスターのナツメロ教室→映画看板絵師による似顔絵教室→集落堂手作り瓦せんべい見学→駄菓子中川でお買物ゲーム→淡路屋クレープ場教室→ボン菓子職人実演・試食→JR神戸市営地下鉄和田岬駅解散	14名
第2回	レトロな長田編	2005/11/26	神戸市営地下鉄かかも駅集合→真野地区散策(みやこ納豆・納豆喫茶見学・真鍋玉子焼試食)→田口文具店でお買物→駄菓子福吉でお買物ゲーム→三ツ星艦隊でのラムネ試飲→直売所さとう立敷女将による漬物教室→穴開道、大正筋、本町通商店街散策→丸五市場散策→駒ヶ林地区散策→自治会連合会会長による鮎塚堂案内→喫茶ココで自己紹介→JR新長田駅解散	17名
第3回	レトロで師走の兵庫編	2005/12/17	神戸高速鉄道新開地駅集合→喫茶ココで自己紹介→新開地商店街見学→松尾稲荷神社ヒリケン見学→福蒔市場見学(コロッケ・串ホルモン試食)→西出町まちなか俱樂部にておせち料理教室→昼食(お好み焼ひかり)→神戸市中央卸売市場見学(神戸漬物)→27kg食品研究所見学・蒸しパン試食→映画看板絵師宅で映画講座→JR兵庫駅解散	14名
第4回	レトロな長田編	2006/1/28	神戸市営地下鉄かかも駅集合→真野地区散策(みやこ納豆・納豆喫茶見学)→田口文具店にてお買物→駄菓子福吉でお買物ゲーム→山崎機工見学→喫茶すずらんで自己紹介→こなもんめぐり(自由時間 1h)→駒ヶ林地区散策→駄菓子ランドでお買物ゲーム→丸五市場見学→黒原池畑土館で長田の歴史講座→むついわいでのカフェル教室→JR新長田駅解散	23名
第5回	レトロな兵庫編	2006/2/26	JR神戸駅集合→喫茶ココでの明命+自己紹介→松尾稲荷神社ヒリケン見学→福蒔市場見学(お好み焼ひかり見学・中畑串ホルモン試食)→木版画家による版画教室→蒸しパン試食・試飲→神戸市中央卸売市場見学→兵庫大仏見学→兵庫運河散策→洋食で昼食→神戸ウイングスタジアム見学→駄菓子中川でお買物ゲーム→淡路屋クレープ教室→神戸市営地下鉄和田岬駅解散	8名

凡例 ■■■■■ 住民が知識や技能を披露 ■■■■■ 店主や工場主が知識や技能を披露

2. ツアーで訪問した空間とおかんアートとの関係

ツアーで訪問した125の個人商店、町工場、住宅のうち、おかんアートが展示されているものが複数存在した。そこで、おかんアートの存在が確認された空間を対象に、おかんアートを展示する経緯をヒアリング調査した結果、①空間を運営する主体(以下、「空間の主体」)が制作・展示する、②空間の主体以外が制作・展示する、③空間の主体が展示・販売する、④空間の主体以

外が展示・販売する、という4パターンが存在することが確認できた。例えば、①では、店主が制作した手芸作品を店内に飾る金物店(写真4)、②では、日本茶販売店の常連客が自ら制作した手芸作品を店主が展示する日本茶販売店、③では、主人が経営する工場の一部で夫人が趣味の手芸作品を制作販売する椅子の内張工場、④では、店内の一部に客や友人からの委託販売スペースを設置し、手芸作品を販売するクリーニング店(写真5)、などがある。

おかんアート系統図——全てはおかんの愛からはじまる物語

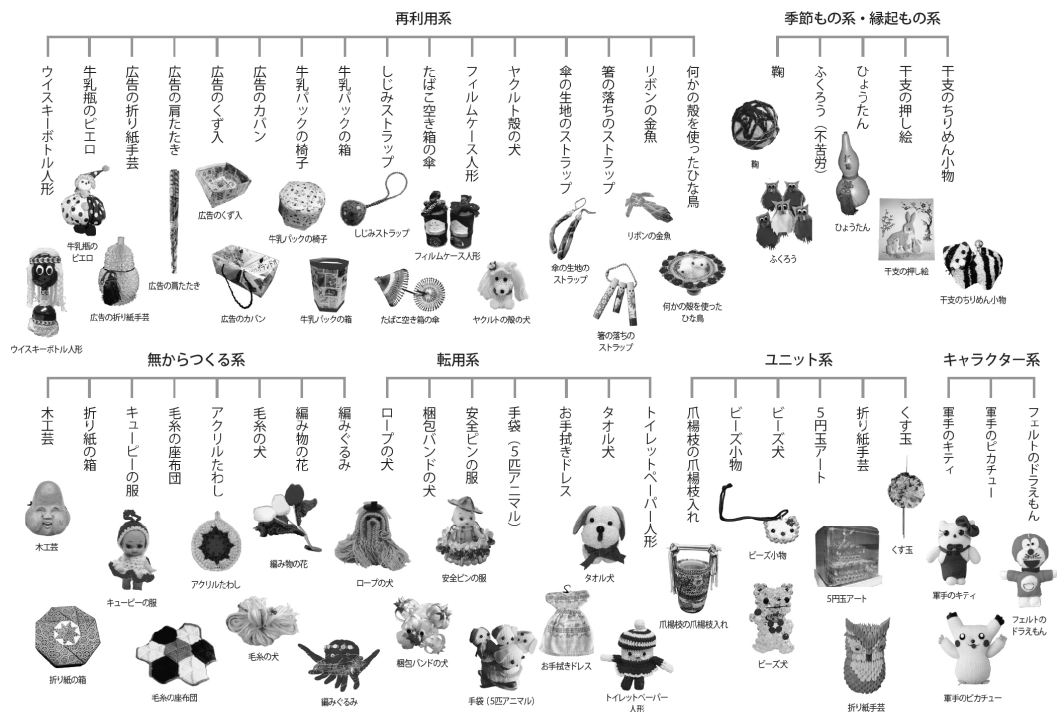


図3. おかんアート系統図(引用:『おかんアート-兵庫・長田おかんアート案内-』)



写真4. 金物店内に展示されるおかんアート



写真 5. おかんアートを委託販売するクリーニング店

3. おかんアートを制作する婦人ら

ツアーで訪問した 125 の個人商店、町工場、住宅のうち、おかんアートが展示されているものが複数存在した。そこで、おかんアートの存在が確認された空間を対象に、おかんアートの作者について調査を行っている。その中で、日常生活の中で手芸作品を制作する婦人らの存在が明らかになった。現在ヒアリング調査の途上であるが、おかんアートを制作する婦人の多くは自宅の一部を工房として利用し（写真 6、写真 7、写真 8）、販売目的ではなく贈呈を目的として作品を制作していることが分かった。

4. 婦人らにより主体的に開催されるおかんアート展

2008 年から 2010 年の 2 年間は、財団法人阪神淡路大震災復興基金「まちのにぎわい一括助成事業」において、おかんアートの作者の発掘及びおかんアート展の開催が採択された。2009 年 11 月に第 1 回、2010 年 12 月に第 2 回おかんアート展を開催し、60 名を超えるおかんアートの作者、つまり、婦人を発掘するに至った。60 名を超える婦人のうち、兵庫区長田区で制作する婦人らを中心に、2012 年「おかんアート展実行委員会」を立ち上げ、2015 年 1 月までおかんアート展を毎年開催している。

おかんアート展の開催にあたり、2011 年までの 3 年間は下町レトロに首っ丈の会のみで企画を行っていたが、2012 年からは、「おかんアート展実行委員会」に所属する婦人と下町レトロに首っ丈の会スタッフが月 1 回のミーティングを 1 年にわたって開催し、展覧会の企画や運営の仕組みづくりを協働で行っている。

その結果、2011 年より「おかんアート展実行委員会」に所属する婦人らに主体性が生まれ、おかんアートを制作する婦人の発掘が進んでいる。おかんアート展では、手芸作品の展示、手芸教室、手芸作品の販売を行う。2014 年から、手芸作品の出展費を徴収し、手芸教室（図 4）や手芸作品の売上げの一部を翌年の開催のために集金する仕組みを構築した。



写真 6. タンス前にある婦人の作業台



写真 7. こたつを活用した婦人の作業台



写真 8. 木工好きな壮年の作業台

		第5回 おかんアート展 「手作り教室」 予定表					
		10月31日(木)	11月1日(金)	11月2日(土)	11月3日(日)	11月4日(月)	11月5日(火)
1時間目	秋本さんのお手軽「三角袋」教室 	秋本さんの「布小物と折り紙」教室 	秋本さんのお手軽「三角袋」教室 	伊藤さんの軍手人形「11びきのねこ」教室 	秋本さんの「布小物と折り紙」教室 	東根さんの「すてきな洋裁」教室 	
2時間目	堀江さんの「アイッシュカバー」教室 	香坂さんの「南天に乗ったさるぼぼ」教室 	香坂さんの「ひもでつくるカエル人形」教室 	尾本さんの「ひもでつくる「まいちゃん」人形」教室 	香坂さんの「ひもでつくるカエル人形」教室 	秋本さんのお手軽「三角袋」教室 	
3時間目	香坂さんの「ひもでつくるカエル人形」教室 	尾本さんの「まいちゃん人形」教室 	香坂さんの「南天に乗ったさるぼぼ」教室 	香坂さんの「ひもでつくるカエル人形」教室 	余神(はますず)さんの「いちごのアクリルたわし」教室 	小村さんの「マクラム」教室 	
4時間目	小村さんの「マクラム」教室 	尾本さんの「着せ替えキュービー人形」教室 + 小野さんの「金銀ペンダント」教室 	金川さんの「押し絵」教室 	伊藤さんの軍手人形「くまのジャッキー」教室 	尾本さんの「まいちゃん人形」教室 	小村さんの「マクラム」教室 	
5時間目	金川さんの「押し絵」教室 	堀江さんの「アイッシュカバー」教室 	尾本さんの「まいちゃん人形」教室 	尾本さんの「干支のストラップ」教室 	尾本さんの「着せ替えキュービー人形」教室 	金川さんの「押し絵」教室 	
6時間目	金川さんの「押し絵」教室 	香坂さんの「ひもでつくるカエル人形」教室 	金川さんの「押し絵」教室 	香坂さんの「南天に乗ったさるぼぼ」教室 	香坂さんによる「南天につくったさるぼぼ」教室 	金川さんの「押し絵」教室 	

図 4. おかんアートを制作する婦人の特技を生かしたおかんアート展での「手作り教室」プログラム

Ⅲ. 新たな地域資源としてのおかんアート

下町レトロに首っ丈の会が、書籍「おかんアート -兵庫・長田おかんアート案内-」を刊行し(図5、図6)、神戸市で郷土本を扱う書店と下町レトロに首っ丈の会ウェブサイト販売した結果、全国から注文依頼が寄せられた。手芸を趣味とする婦人に加え、芸術や文化に関わる専門家、建築やまちづくりに関わる実務者、レトロや雑貨に興味を持つ20代～30代、マスコミ関係者らが購入した。また、都築響一氏のブログ⁶⁾を通して「おかんアート -兵庫・長田おかんアート案内-」が紹介され、資生堂が出版する企業文化誌「花椿」や、NHKをはじめ全国放送の番組において紹介されるようになった。

Ⅳ. まとめ

住商工混在地域である兵庫区・長田区を対象に、2005年より筆者らが開催するツアーで訪問した125の個人商店、町工場、住宅では、おかんアートと呼ばれる婦人らの手芸作品が広く展示されていた。本稿では、おかんアートが存在する空間、及び、おかんアートを制作する婦人ら、という2点に着目し、現在も筆者により実施中である調査について中間報告を行った。おかんアートが存在する空間についての調査を通して、空間とおかんアートとの関係は4パターンに分類することができた。おかんアートを制作する婦人らについては、おかんアート展が2009年から現在まで開催される中、年々婦人らがおかんアートに興味を持つ若い世代と協働し、企画・運営の仕組みづくりに取り組みながら、主体的におかんアート展を開催するようになってきたことが分かった。今後は、おかんアートが存在する多様な空間や、おかんアート展といった継続的なイベントの実施が、新たな地域資源ともいえるおかんアートを主体的に運営する担い手を育成する場となり得る可能性について検討する必要がある。



図 5.
『おかんアート
-兵庫・長田おかんアート案内-』
(表紙)



図 6.
『おかんアート
-兵庫・長田おかんアート案内-』
(裏表紙)

参考文献

- 1) 長田区の概要（ホームページより引用 <http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/nagata/jyouhou/>）
- 2) 平成 19 年度神戸市商業統計調査（兵庫区では平成 16 年の小売店舗数が 1777 に対して平成 19 年度は 1617、長田区では平成 16 年が 1375 に対して平成 19 年度は 1262 となった。）平成 20 年度、平成 21 年度工業統計調査（兵庫区では平成 20 年の中小事業所数（工場等）が 300 に対して平成 21 年度は 265、長田区では平成 20 年が 594 に対して平成 21 年度は 541 と減少している。）
- 3) 下町レトロに首っ丈の会（<http://www.citamati.tiretro.com>）
- 4) 日経 MJ 2005 年 9 月 2 日号（http://www.nikkei.co.jp/mj/?n_cid=DSLINK003）
- 5) 下町レトロに首っ丈の会：『おかんアート-兵庫・長田おかんアート案内-』（株式会社くとうてん, 2005）
- 6) 都築響一：「roadside diaries」（http://roadsidediaries.blogspot.jp/2011/10/blog-post_12.html）